



競技の部	単 独 演 武	男子有段の部	16才以上、初段以上		
		男子級拳士の部	16才以上、1級以下		
		女子有段の部	16才以上、初段以上		
		女子級拳士の部	16才以上、1級以下		
	運 用 法	男子運用法の部	二段以上で高校生以上の者。男女混成は認めない。 運用法実施者は東海大会にて、他種目（組演武、 団体演武）に出場することを出場条件とする。		
		女子運用法の部			
発 表 の 部	組 演 武	小学生の部	有段	学年・性別不問 令和元年度全日本少年少女武道(少林寺 拳法)錬成大会「規定組演武内容」で行う。 (有段のみ自由組演武) 両者の資格が違う場合、上級者の資格の 部へ出場する。 ※世界大会の選考会は別日に実施	
			1級		
			2級		
			3級		
			4級		
			5級		
			6級		
	単 独 演 武	小学生の部	黒帯	2023年少林寺拳法東海大会「小学生 規定単独演武」で行う(別紙)。 (黒帯のみ自由単独演武)	
			茶帯		
			緑帯		
白黄帯					
中 学 生 の 部	中学生の部	男子	13才~15才、武階は不問 自由単独演武		
		女子			
※	ファミリー(団体)の部・ マイシードの部・論文の部	出場申込みに際しては県連事務局に問い合わせ			

## 6. 実行委員会

### ■ 愛知県少林寺拳法連盟

〒477-0032 東海市加木屋町高見 50-19

TEL / FAX : 0562 (35) 0766

E-Mail : jimukyoku@shorinji-aichi.jp

以上

# 2023年少林寺拳法東海大会 出場申込及び大会出場に関する確認事項

2023年3月19日  
愛知県少林寺拳法連盟

## 1. 全種目に適用する事項

- ① 出場者は、少林寺拳法連盟会員規程に基づく義務を果たしていること。
  - ・2023年度現役会員
- ② 少林寺拳法競技規則、少林寺拳法審判規則に基づき実施する。
  - ・少年部・中学生で禁止されている受身、武階相当技、禁止技、攻撃技等
  - ・「2022～2025年度考試員審判員講習会資料」を十分に確認すること。
- ③ 出場種目は、基本1人1種目とする。(団体演武の部、運用法の部、マイシードの部、論文の部出場者を除く)
- ④ 演武者・運用法実施者の組み合わせは、愛知県連盟内であれば所属は不問とする。
- ⑤ 有段者の種目の使用科目は、次記の通りとする。
  - ・武階の異なる拳士と組む場合を含めて、各々の武階に応じた範囲までとする。
  - 例) 三段の拳士が二段の拳士と組む(三段の部出場)
    - 三段の拳士が守者の際は、三段で習得する科目(四段科目)まで
    - 二段の拳士が守者の際は、二段で習得する科目(三段科目)まで
  - ※攻撃については、守者の使用する科目に合わせ、武階に関する制限はない。
  - ※六段科目「羅漢圧法」(有段者科目表参照)の単独技としての使用は不可。
- ⑥ 服装・防具・武器等について
  - ・服装は、「服装規定」に準じる。なお規定に違反した場合は失格とする。
  - ・相手または自身に危険を及ぼすような物は、一切身に付けてはならない。
    - ※メガネ、ハードコンタクト、金属・プラ製の髪留め、装飾品(ネックレス、指輪、イヤリング等)
    - ※髪留めはゴム製のみ。
    - ※やむを得ずメガネ等の着用の必要がある場合は、別途上申書を提出する。
  - ・負傷箇所の保護目的以外のサポーター、テーピングは使用禁止。(事前に申し出る)
  - ・胴の使用は認める。(少林寺拳法連盟公認防具のみ)
  - ・法器、武器は使用禁止。
- ⑦ マスクなし。気合あり。

## 2. 世界大会選考の部(競技の部)に適用する共通事項

- ① 異なる武階組み合わせの許容範囲について  
指定の武階の拳士と組み、該当する種目に出場することを原則とするが、次表に限り異なる武階の組み合わせを認める。

種目	組み合わせ
一般男子五段以上の部	<ul style="list-style-type: none"> <li>両者五段以上であれば、武階の差は不問。</li> <li>五段と四段の組合せのみ認める。(下位は四段まで)</li> <li>四段と組む場合の武階差は1階級まで。(例：六段・四段は不可)</li> </ul>
一般男子三段、四段の部	<ul style="list-style-type: none"> <li>両者同武階、または三段と四段の組合せとする。</li> <li>三段と二段の組合せのみ認める。(下位は二段まで)</li> <li>武階差は1階級まで。(例：四段・二段は不可)</li> </ul>
一般男子初段、二段の部 一般女子初段、二段の部	<ul style="list-style-type: none"> <li>両者が同武階、または初段と二段の組合せとする。</li> <li>初段と1級の組合せのみ認める。(下位は1級まで)</li> <li>武階差は1階級まで。(例：二段・1級は不可)</li> </ul>
一般男子級拳士の部 一般女子級拳士の部	<ul style="list-style-type: none"> <li>両者級拳士であれば武階の差は不問。</li> </ul>
女子護身技法有段の部	<ul style="list-style-type: none"> <li>両者有段者であれば武階の差は不問。</li> <li>初段と1級の組み合わせのみ認める。(下位は1級まで)</li> </ul>
女子護身技法級拳士の部	<ul style="list-style-type: none"> <li>両者級拳士であれば武階の差は不問。</li> </ul>

- ② 男女の組による組演武について  
「女子護身技法(有段・級拳士)の部」について  
すべての構成において、男性が攻撃を仕掛けていくのに対して女性が守者となり最後の極めを行う。女性の反撃から男女の攻守が入れ替わりながらの攻防は可とするが、男性の極めが生じた場合は15点減点とする。
- 技術度については「男性の攻撃内容に見合った女性の防御、反撃」や「当身の五要素を踏まえて、女性が男性を制している」という視点により審査する。
  - 表現度「構成、リズム、節度」については、男性の攻撃に対して女性が守り、男性を制している過程を表現していることを視点とする。
- ※演武の形式ではあるが、その中で「護身の技法」を女性が表現することを趣旨とする。
- ③ 「中学生男子の部」については、男性同士の組、男女の組ともに攻者、守者の指定、極めの指定はなし。  
※中学生以下は「宙で回転する受身」の使用は禁止。

## 3. 「宙で回転する受け身」に適用する事項

- ① 「男子マスターズ(A・B)の部」「女子マスターズの部」について

「宙で回転する受身」を禁止とする。

「男子マスタース（A・B）の部」については、男性同士の組、男女の組ともに「宙で回転する受身」を禁止。

但し攻者、守者の指定、極めの指定は無し。

・「宙で回転する受身」を使用した場合は 15 点減点。

・「一般背投」「肩車」に対して大車輪を用いて両足で着地する受身は使用可。

- ② 「マスタースの部（男子 A・B、女子）」「中学生の部（男子、女子）」を除く各種目について

「宙で回転する受身」について、減点対象となる事項を設ける。

受身が不十分で危険を伴う内容とみなされた場合は総合点より 5 点減点とする。

また、攻防に適合していない（守者の体捌き、並びに技の成立条件が不十分な状態で自ら無理に飛ぶ）「宙で回転する受身」は該当する構成の技術度の採点より、各審判員が 1 点減点とする。

・体の側面から落下している、背中、臀部から落下しているものなどは受身が不十分とみなす。

・受身が不十分であると疑義が生じた場合は、該当コートの審判員の協議を行う。

・攻防に適合していない（自ら無理に飛ぶ）「宙で回転する受身」は各審判員の判断による。

※「女子護身技法（有段・級拳士）の部」以外の競技の部各種目は男性同士の組、女性同士の組、男女の組ともに攻者、守者の指定、極めの指定は無し。

#### 4. 組演武に適用する事項

- ①小学生の部

・小学生の部（有段）

→自由組演武。演武時間は、1分～1分30秒以内とする。

・小学生の部（1級～白黄帯）

→規定組演武（令和4年全日本少年少女武道（少林寺拳法）錬成大会）

※原則、同じ武階の拳士と組むこと。武階の異なる拳士と組む場合、武階の近い拳士同士で組むことが望ましい。

※少年部初段の拳士が使用できる技は、一般初段の習得科目（二段科目）までとする。

- ②ファミリー（親子）の部（子どもは中学生以下に限る）

演武時間は、1分から1分30秒以内とする。

子どもが技の極め、固めを行う。子どもに対する逆技（極め、固め、投げ）は禁止。

- 1) 演武構成について

・全ての構成において剛法、柔法問わず、子どもが各構成最後の技の極め、固めを行う。

また、子どもに対する逆技（極め、固め、投げ）は構成全体で禁止とする。

・違反した場合は少年部禁止技と同様に総合点から 15 点減点とする。

→親子の体格差、体力差を踏まえた安全管理を目的とする。

- 2) 演武時間について

・演武時間は中学生と組む場合も含め、少年部と同じく 1分～1分30秒とする。

→子どもであることを踏まえて、少年部の演武時間を適用する。

## 5. 「男子運用法の部」「女子運用法の部」に適用する事項

- ① 1 所属からの出場は、3 名以内とする。
- ② 防具については、下表の通りとする。

部位	防 具	男子	女子
上段	少林寺拳法公認ヘッドガード（黒または赤）	○	○
中段	少林寺拳法公認ボディープロテクター	○	○
下段	ファールカップ（メーカー、仕様不問） ※道衣（下）の内側に着用する。	○	×
手	少林寺拳法拳サポーター	○	○

- ③ 世界大会運用法実施要項に準じて行う。

評価方法は、攻撃や反撃をとにかく極めるといったポイントをみるのではなく、双方の攻防の動き、技の習得度、防御から反撃への足捌き、体捌きや技を体系的に練り上げているか（戦術の修得度）など、また特に礼儀作法（審判、相手に対するマナー）を重視する。  
以上、拳（技術）と禅（心）の両面で審査する。

## 6. 「ファミリー(団体)の部」「マイシードの部」について

- 出場の意思のある所属および拳士については、参加資格・演武内容・注意点などの詳細を、事務局へ問い合わせのこと。

## 7. 「論文の部」について

- 東海大会において世界大会のための選考及び発表は行わない。
- 世界大会出場拳士選考会は、別途以下の日程で行う。

- 「世界大会 論文の部」 出場拳士選考会

日 時 2023 年 6 月 25 日（日） 時間未定

会 場 愛知県武道館 剣道場

参加費 500 円/人

※選考会の開催、申込については後日案内する。

## 8. その他、出場に関する注意事項(確認も含む)

- 1 所属の申し込み数の制限はない。  
(ただし、実業団連盟・東海学生連盟・高校連盟は、各種目 3 組まで)  
※「小学生単独演武の部」の申し込み数も、制限はない。
- 申し込み締切日（4 月 30 日（日））の資格で登録のこと。  
※大会当日（6 月 4 日(日)）の見込資格での申込登録も可とする。
- 「小学生」の表記は、未就学児童も含む。

### 出場種目数

- 1 人 1 種目。(各種目への重複出場は不可。団体・運用法の部は除く)

### 出場組み合わせ

- 同一所属の組み合わせ以外も可とする。(愛知県以外の所属は不可)

### 級拳士の使用科目

- ・一般（中学生以上）見習～4級については、3級科目まで使用可。
- ・一般（中学生以上）3級～1級については、初段科目まで使用可。

### 演武時間（実施時間）

- ・組演武は1分30秒以上2分以内。「小学生の部（有段）」「親子の部」のみ1分以上1分30秒以内。
- ・「単独演武の部」は1分以上1分30秒以内。小学生規定演武は除く。

### リボンの着用（小学生以下のみ）

- ・組演武 → 黄色、単独演武 → 桃色、団体演武 → 水色 のリボンを各所属で用意し、必要事項（プラカード番号、出場種目、出場コート番号、出場順番）を記載し帯に着用させること。

### 中学生出場種目の注意事項

2023年少林寺拳法東海大会では「全国中学生大会」の県代表選考は行わない。選考会は以下の日程にて開催する。

#### ●「全国中学生大会」出場拳士選考会

日 時 2023年6月25日（日）9時30分～（予定）  
会 場 愛知県武道館 剣道場  
参加費 1,000円/人

### 小学生出場種目の世界大会選考会

小学生の部については、以下の日程にて全国大会選考会を行う。

#### ●「世界大会 小学生の部 A・B」出場拳士選考会

日 時 2023年6月25日（日）9時30分～（予定）  
会 場 愛知県武道館 剣道場  
参加費 1,000円/人

選考会の開催、申込については後日案内する。

- ・「小学生の部 A」→2023年度において小学4年生以上同士、またはどちらかが4年生以上とする。武階・性別不問。  
世界大会選考枠（競技の部）：3組
- ・「小学生の部 B」→2023年度において小学3年生以下とする。武階・性別不問。  
世界大会選考枠（発表の部）：3組
- ・自由組演武、演武時間は1分～1分30秒以内。

## 9. 表彰対象について

- ・各種目とも上位6組（最優秀賞、優秀賞、優良賞、敢闘賞）を表彰する。
- ・大会当日は最優秀賞、優秀賞、優良賞の授与を行い、敢闘賞は大会当日に所属長へ賞状を渡す。
- ・発表の部（小学生 組演武・単独演武、中学生 単独演武）については、コート内上位入賞者を表彰（優秀賞）する。

## 10. 世界大会への出場数

2023年少林寺拳法世界大会 in Tokyo, Japan への愛知県からの出場数

### 競技の部

- ・各種目とも上位3組までとなる。
- ・東海学生連盟・高校連盟については、世界大会出場枠は1組とする。

## 11. 申し込み方法

- ①名簿データの送付について（送付先は以下の通り）
- ・申し込みはインターネットによるEメールでの送付のみとする。
  - ・3月20日（月）から4月1日（土）までに「地区名」「所属名」「所属長名」を件名に入力し、Eメールで送信する。
  - ・4月2日（日）より申込みファイルを配信するので、必要事項を入力後、4月30日（日）までに返信する。

名簿データに関する問い合わせ先  
Eメール：[aichikentaikai2023@re.commufa.jp](mailto:aichikentaikai2023@re.commufa.jp)  
(すべて小文字)  
(愛知浄水) 山下 研治 携帯電話 090-4236-2375

- ②名簿データ注意事項
- ・ファイル名称は絶対に変更・修正しないこと。
  - ・拳士情報等の入力内容を、所属長が必ず確認して返信する。
- ③出場者名簿の確認について
- ・5月7日（日）より、送付された名簿を各所属へ送信する。所属長は必ず確認し、氏名の訂正および出場取消がある場合は5月19日（金）までに上記問い合わせ先まで連絡すること。
  - ・5月21日（日）より、確定名簿を愛知県連盟ホームページへ掲載するので、「出場種目」「所属名」「拳士名」「資格」等の確認を所属長は再度行う。
- ④出場者名簿の取り消しについて
- 出場者の取消が生じた場合、5月19日（金）までに、上記問い合わせ先まで連絡する。
- なお確定名簿のホームページ掲載後は、大会参加費の返金を行わないので了承ください。
- なお、5月20日（土）以後に取り消しを行う場合は、大会当日に取消専用の窓口にて手続きをすること。

## 12. 愛知県大会協力金

- ・支部負担金 10,000円/財団支部
  - ・大会広告費 10,000円/道院
- ※5月29日（月）に所属口座より引落しするので、残高不足等のないように確認のこと。

## 13. 愛知県大会参加費

- ・大会参加費 2,000円/人
- ※後日各所属へ振込用紙を配布するので、ゆうちょ銀行にて振込手続きをお願いします。

以上